競　技　注　意　事　項

1　本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により行う。

2　招集について

（1）招集については、下記の時間帯で実施する。招集所において、アスリートビブスを持参の上、競技者係のチェックを受けること。

トラック競技	競技開始４０分前～２０分前まで
フィールド競技	競技開始６０分前～４０分前まで
混成競技	その日の第1種目のみ上記の時間に招集所で点呼を受け、その後の種目は現地にて招集を受けること

（2）トラック競技は出発点、フィールド競技は選手待機場所付近にて競技開始の10分前に最終点呼を行う。

（3）棄権をする場合は、招集完了時刻までに棄権届（本部総務席に準備）を競技者係に提出すること。

（4）2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。

（5）リレーはオーダー用紙（招集所に準備）を各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。招集は規定通り受けること。

3　アスリートビブスについて

（1）競技者はアスリートビブスを胸部と背部に付けて出場しなければならない。トラック競技に出場する選手は競技者係から配布された腰ナンバービブスを右腰やや後ろ側に付けること。但し、跳躍種目に出場する選手はその種目に限り、胸部又は背部のいずれかを除いてもよい。

（2）競歩競技は、係が配付するアスリートビブスを胸部に付けて、出場しなければならない。

4　競技について

（1）競技日程については、天候等を考慮し、安全を優先して変更する場合がある。

（2）スパイクのピンは全天候走路型とし、長さは9㎜以下とすること。但し、走高跳・やり投については12㎜以下とする。

（3）シューズは規定に沿ったものを使用すること。厚さ等について、審判長の指示で計測をすることがある。

（4）不適切行為による競技者およびリレー・チームへの警告は累積され、2度目の警告を受けた場合は除外（失格）となる。除外された場合、当該競技会のそれ以降の全ての種目やラウンドに出場できなくなる。

（5）選手変更（補欠との入れ替え）については、本部総務席で行う。

（6）トラック競技

・プラス進出者の最後の1枠に同成績（0.001秒まで同じ）がいる場合、空きレーンがあれば全員が次ラウンドに進出するが、空きレーンがなければ、次ラウンドへの進出者は抽選により決定する。ただし1500m以上の種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。

・抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は総務員が代理で行う。

・リレーに出場するチームは全員同一ユニフォームで出場すること。但し、色やデザインが同様で、同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。

・4×400mRの第3・4走者は、競技役員の指示に従い、前走者が200mスタート地点を通過した順位で内側から並び、待機する。その後に順位が変動しても、並び順を変えてはならない。

・リレーおよび800m以下のトラック種目において、棄権等で予選または準決勝の出場者が減り、出場者が9人（チーム）以下になった場合は、予選（または準決勝）をなくし、同種目の決勝の時間に決勝レースを実施する。1500m以上の種目においては、16人以下になった場合に予選をなくし、同種目の決勝の時間に決勝レースを実施する。

（7）フィールド競技

・出場人数にかかわらず予選は実施しない。

・バーの上げ方については、次の通りとする。ただし、気象条件等により変更することがある。

男子走高跳（1.55～）1.60　1.65　1.70　1.75　1.80　1.83（以降3㎝刻）

女子走高跳（1.20～）1.25　1.30　1.35　1.40　1.45　1.50　1.53（以降3㎝刻）

※（　　）の高さで練習を行う。高さを変更したい場合は審判員に申し出ること。

男子八種走高跳　1.70まで5㎝刻　　1.73以降3㎝刻

女子七種走高跳　1.40まで5㎝刻　　1.43以降3㎝刻

男女棒高跳、男女混成競技走高跳の練習及びはじめの高さは、当日現地にて決定する。

・走高跳のマットはトラック側に設置する。

・三段跳の踏切板は男子は11m、女子は9mに設定する。

・持参のやりの使用については、検査のうえ使用を認める。検査は本部前にて招集完了までに受けること。

・フィールド種目の競技者がコーチ等から録画機器を受け取ってビデオを見ることはできるが、通信や撮影等、動作確認以外には使用することができない。また、録画機器の受け渡しは、安全且つ競技運営に支障のない場所で、ひもやかご等（各チームで準備）を使用して行うことができるが、機器が破損した場合、主催者は一切の責任を負わない。なお、投げ渡しや身を乗り出しての危険な状態での受け渡しは認めない。

5　ウォーミングアップについて

（1）競技場前運動場を使用することができる。

（2）メイン競技場での練習は競技開始の30分前までとする。

（3）投てきの練習については、審判員の指示に従い、事故のないように十分注意すること。

6　抗議と上訴について

（1）競技中に起きた競技者の結果又は行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次ラウンドが行われる種目では15分以内）に、審判長に対して口頭でなされなければならない（アナウンスによる結果発表終了時刻を基準とする）。

（2）抗議者は抗議担当総務員に申し出ること。

（3）審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、当該競技者の監督により預託金2万円を添えて「上訴申立書」を、抗議担当総務員を通してジュリーに提出されなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、以下の通りとする。

・結果が変更された場合：結果が公式に発表されてから30分以内（同一日に次ラウンドが行われる種目では15分以内）。

・結果が変更されなかった場合：抗議者に対してその旨が通告されてから30分以内（同一日に次ラウンドが行われる種目では15分以内）。

7　県大会について

（1）混成は５位までが県大会出場権を得る。

（2）女子棒高跳は５位までの５人、走高跳、棒高跳については８位までの８人が県大会出場権を得る。最後の枠に同成績がいる場合は、ジャンプオフ形式で決定戦を行う。

（3）男 400m、男 800m、3000SC は決勝を二組(ジグザク番編)で実施し、総合８位までの選手が県大会出場権を得る。総合順位の以上の方法で出場枠を満たさなかった場合に、補充する措置をとらない。

（4）5000m は資格記録順に二組を編成してタイムレース決勝で実施し、総合順位の８位までの選手が県大会出場権を得る。

（5）決勝レースで欠場があり、県大会出場枠を満たさなかった場合、その前ラウンドの成績上位のものが出場権を得る。

（6）その他の種目は８位までの選手が出場権を得る。

会場：博多の森陸上競技場　　期日：9 月 19 日(土)～ 21 日(月)

8　その他

（1）スタンドで立って応援することを慎むなどマナーを守って応援すること。

（2）雷が鳴った場合はすぐさま競技を中断する。その場合は、兆候（雷鳴や稲光）がなくなって30分後を目安に競技を再開（アナウンスで指示）する。なお、中断時間によっては以降の種目の実施方法を変更（タイムレースに変更やフィールド種目の試技回数の変更等）することもある。

（3）観客席からの撮影は、許可された場所において望遠レンズを装着していないスマートフォン・タブレット端末のみ許可される。以下の図の枠内で当該競技実施中はすべての撮影を禁止とする。

（4）競技場周辺の違法駐車は厳禁とする。